

マイクロコントローラ技術情報

技術通知 uPD179F1xx 用 インサーキット・エミュレータ QB-179F124 使用制限事項の件				発行番号	ZBG-CD-10-0037号	1/2
				発行日	2010年10月4日	
				発行部門	ルネサス エレクトロニクス株式会社 MCU事業本部 ソフトウェア統括部 MCUツール技術部 	
文書分類	☐	使用制限事項		バージョンアップ	ドキュメント誤記訂正 (正誤表)	その他
関連資料	uPD179F1xx 用 インサーキット・エミュレータ QB-179F124 バージョンアップのお知らせ					資料番号: ZBG-CD-10-0038

1. 対象製品 および バージョン

対象製品名	概 要	管理記号 ^{注)}
QB-179F124	uPD179F1xx 用 インサーキット・エミュレータ	A, B

注) 管理記号は 10 桁の製造番号 (シリアル No.) の左から 2 桁目に表示されています。
バージョンアップを行っている場合は、統合デバッグ ID78K0-QB からバージョン表示ダイアログにてバージョン情報を確認してください。
IECUBE **** X F/W: V*.** の X が管理記号です。

2. 新たな制限事項

今回新たに制限事項の No. 3 RAM 保持検出機能の不具合を追加しました。
詳細は、別紙を参照してください。

3. 回避策

詳細は、別紙を参照してください。

4. 改善計画

制限事項の No. 3 について下記日程で改善することを計画しております。

管理記号 C の出荷開始日	2010 年 10 月 12 日
出荷済み製品のバージョンアップ受付開始日	2010 年 10 月 12 日

★本日程については予告無しに変更する場合がありますので、改善品のリリース日程については、別途、ルネサス エレクトロニクス販売株式会社営業担当、または特約店までお問い合わせください。

5. 制限事項一覧

添付の別紙を参照ください。

6. 発行文書履歴

文書番号	発行日	記事
ZBG-CD-07-0031	2007.5.21	新規発行
ZBG-CD-10-0037	2010.10.4	制限事項 No.3 の追加

QB-179F124 制限事項

本文書はエミュレータのみが該当する制限事項, およびエミュレータで修正予定のある制限事項を記載しています。

対象デバイスの制限事項については下記文書に記載されておりますので, あわせてお読みください。

- ・対象デバイスのユーザズ・マニュアル
- ・対象デバイスの制限事項文書

また, エミュレータの注意事項についてはエミュレータのユーザズ・マニュアルに掲載されております。こちらもおわせてお読みください。

1. 製品バージョン

ルネサス エレクトロニクス社製インサーキット・エミュレータ IECUBE は, 製品バージョンを管理記号で示しています。管理記号とは, 10 桁の製造番号 (シリアル No.) の左から 2 桁目に表示される記号のことです。バージョンアップを行っている場合は, 統合デバッガ ID78K0-QB の動作時に[ヘルプ]→[バージョン情報]で管理記号を確認してください。下図の IECUBE **** X F/W: V*.** の X が管理記号です。

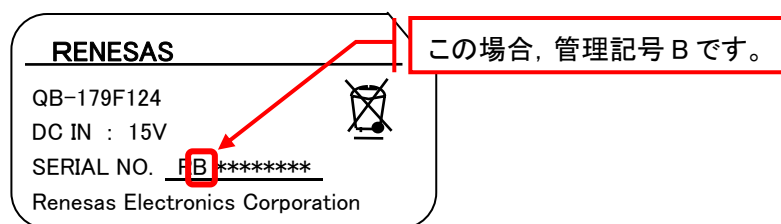


図 1 管理記号の確認 (QB-179F124 のシール)

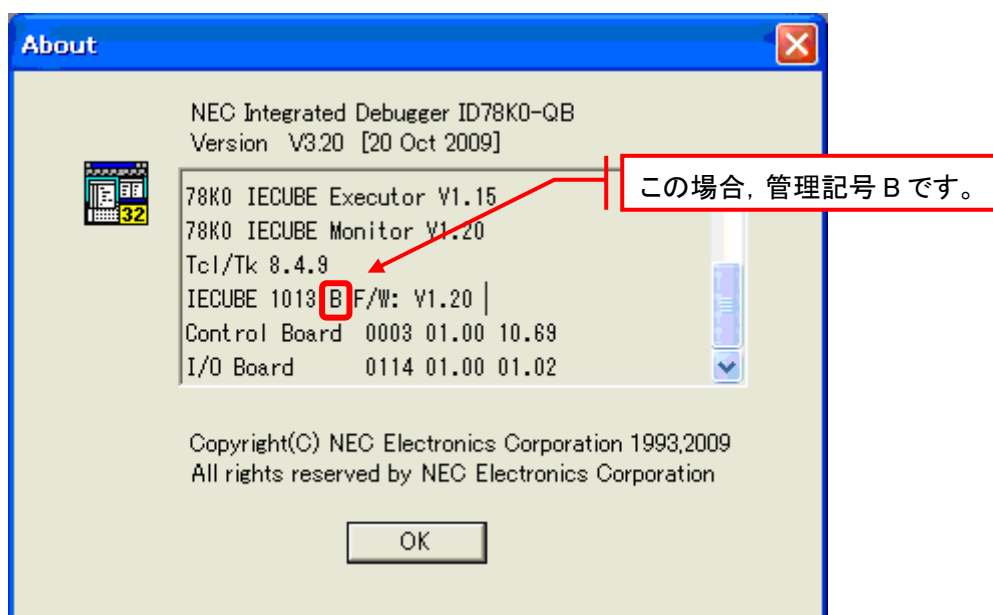


図 2 管理記号の確認 (ID78K0-QB)

2. 制限事項

2.1 制限事項一覧

No.	制限事項	管理記号	
		A	B
1	R4MTRM2がR/Wできない不具合	×	○
2	TMHMD1の2逓倍(2fprs)設定が8MHz固定となる不具合	×	○
3	RAM保持検出機能の不具合	×	×

- : 対象外 × : 修正されていない ○ : 修正済み

2.2 制限事項詳細

No.1 R4MTRM2 が R/W できない不具合

【内 容】R4MTRM2(高速内蔵発振器トリミング・レジスタ)に対してR/Wを行った場合、以下の動作となります。Writeを行った場合は、トレース・ウインドウではレジスタの書き込んだ履歴が残りますが、実際のレジスタ値は00Hのままです。Readを行った場合は、必ず00Hが読み出されます。

【回避策】回避策はありません。

【改善策】管理記号 B 以降で修正されています。

修正後、書き込んだ値は変化しますが以下の注意事項が残ります。

【注 意】IECUBE では高速内蔵発振器を内部のオシレータで実現しています。よってトリミングの必要が無いため、高速内蔵発振器トリミング・レジスタ(R4MTRM2)のエミュレーションは行えず、高速内蔵発振器トリミング・レジスタ(R4MTRM2)へのアクセスは実動作に影響を与えません。

No.2 TMHMD1 の 2 逓倍(2fprs)設定が 8MHz 固定となる不具合

【内 容】TMHMD1(8ビット・タイマHモード・レジスタ1)にて、カウント・クロックを2逓倍(2fprs)に設定した場合、カウント・クロックは必ず8MHzとなります。(その他の設定にした場合は問題ありません)例えば、周辺ハードウェア・クロック(fprs)が2MHzの場合、TMHMD1を2逓倍(2fprs)に設定すると、カウント・クロックは4MHzとはならず8MHzとなります。

【回避策】回避策はありません。

【改善策】管理記号 B 以降で修正されています。

No.3 RAM 保持検出機能の不具合

【内 容】RAM保持検出機能が動作しません。

【回避策】回避策はありません。

【改善策】管理記号 C 以降で修正されます。

以上